長野県軽井沢町議会

議会だより

No.98

軽井沢
KARUIZAWA

平成25年2・3月会議

新年度予算を可決 p2-3
予算を３日間集中審査 p4-7
活発な議案質疑 p10-11
代表・一般質問に７人 p13-19

町の将来像を見える形で

平成25年度　各会計別予算

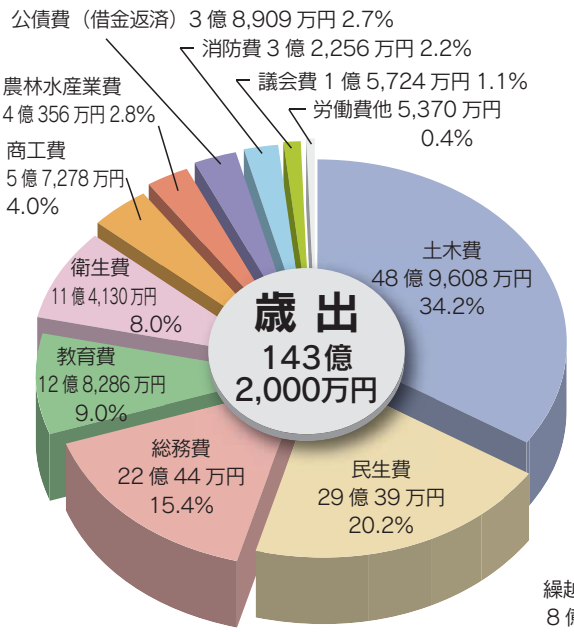
会計名	25年度予算	前年度比(当初)
一般会計	143億2,000万円	2.85%⬇
国民健康保険事業勘定特別会計	27億5,780万円	8.86%⇧
駐車場特別会計	1億3,221万円	5.59%⇧
公共下水道事業特別会計	7億6,198万円	22.03%⬇
農業集落排水事業特別会計	5,833万円	8.07%⬇
介護保険特別会計	14億5,541万円	8.72%⇧
訪問看護事業特別会計	2,790万円	26.02%⇧
後期高齢者医療特別会計	2億1,010万円	10.13%⇧
水道事業会計(収益的支出)	5億5,085万円	1.91%⬇
病院事業会計(収益的支出)	23億　692万円	4.12%⇧
予算総額	225億8,150万円	0.82%⬇

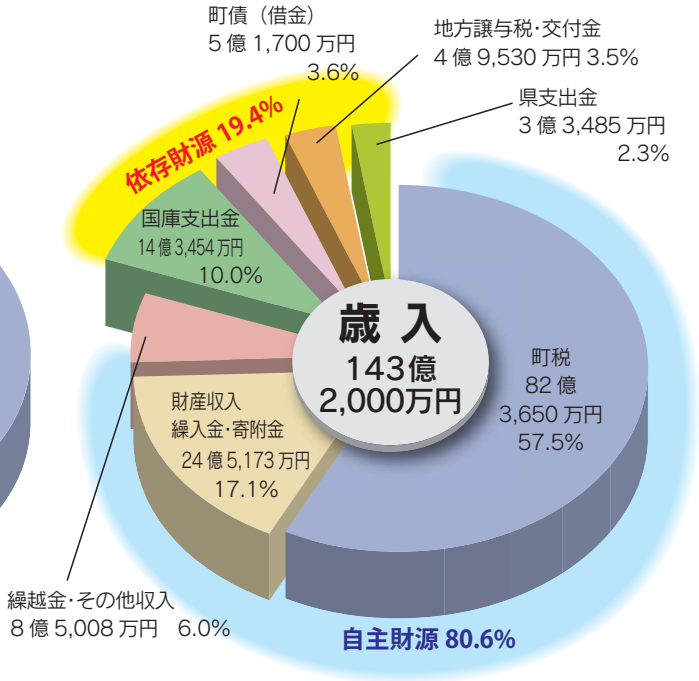
町長 新年度予算を語る

今回の予算は、軽井沢らしさを永続的に守り育てていくための施策として、軽井沢町の長期的な将来像を文字だけでなく、見てわかる形で住民等に周知するとともに、行政の指針とすることを目的として軽井沢町の「グランドデザイン像作成」関連経費を計上しました。

産業振興として「住宅リフォーム補助」を引き続き計上し、地域経済の活性化を図るとともに、今後も中学校建設事業等が控えていることから限られた財源を重点的・効果的に予算配分し、最大の行政効果が得られるよう予算編成を行いました。

一般会計予算の内訳





主な事業（一般会計）

◎都市デザイン計画推進経費　（1708万円）
（主なもの）
・グランドデザイン像作成委託

◎風越公園整備事業　（27億1511万円）
（主なもの）
・総合体育館建設工事
・アイスアリーナ休憩所建設工事
・スカップ軽井沢他改修工事
・植物園あずまや改修工事
・風越公園内案内看板設置工事

◎中学校建設関係経費　（1億5425万円）
（主なもの）
・実施設計委託
・プール解体工事

◎直売所新設事業　（1億2955万円）
（主なもの）
・土地鑑定委託
・用地購入
・プロポーザル委託（提案型）
・地盤調査委託
・新設設計委託

◎道路、橋、河川、街路等整備事業（13億1141万円）
（主なもの）
・町道舗装補修工事
・用地購入
・茂沢湯川橋他橋梁修繕工事
・西地区排水路整備工事

◎小中学校学習支援事業　（2298万円）
（主なもの）
・TT講師（チームティーチングの略 補助講師）6名
・特別教育支援員　5名

総合体育館（完成予想図）

◎鳥獣対策経費　（4458万円）
（主なもの）
・ツキノワグマ対策事業委託
・有害鳥獣対策委託
・有害鳥獣被害防除用施設設置補助

◎六本辻ラウンドアバウト本設事業（4000万円）
・本設工事設計委託
・本設工事

◎住宅リフォーム補助　（1億5000万円）

◎さわやか軽井沢交流会経費　（540万円）

◎太陽光発電システム導入促進補助（2800万円）

◎町内循環バス運行委託　（4850万円）

◎防災無線デジタル化工事詳細設計委託　（1000万円）

◎合併処理浄化槽設置補助　（1億4964万円）

◎くつかけテラス指定管理料　（5500万円）

◎風越公園カーリングホール他指定管理料　（1億2000万円）

◎中部小学校水道施設改修工事　（4490万円）

◎佐久市建設斎場施設建設費負担金（3356万円）

中審査

議会では、二元代表制の下で住民から選ばれた一方の代表として、住民本位の立場に立ち、監視機能を高めていくためには、予算の審査の機能の強化を図ることが必要であると考え、予算を総合的に審査する予算特別委員会を設置した。

議会として議決した責任を自覚するため、昨年に引き続き全員による予算特別委員会を設置し、3日間にわたり審査しました。主な質疑は以下の通りです。

総務課

市村守　佐久市に建設予定の斎場に対する負担割合は。

また、稼働時期は。

総務課長　佐久市が47.2%、他の市町村が52.8%である。総額36億円を見込んでいる。

また、稼働は平成28年を予定している。

内堀次雄　職員の研修費が計上されていないが、職員の政策立案能力を高めるためにも、形の分かる項目を設けるべきと考えるが。

総務課長　研修旅費の中でみている。

先進地の視察等で職員の政策能力の向上を図る。

講師を招聘しメンタルヘルスや政策立案ができるよう心がけている。

今後は分かりやすい項目で考える。

企画課

内堀次雄　「しなの鉄道中軽井沢駅無人時間解消負担金」は、駅員が不在の時間を無くすための出資かと考えるが、しなの鉄道でも応分の負担をするのか。

企画課長　しなの鉄道でも不在解消のための負担はする。

本来、中軽井沢駅は無人駅であるが、特例で駅員を置いてもらっている。

荻原宗夫　OA機器の項目で多額な予算が計上されているが。

企画課長　障がい者福祉システム、人事給与システム、戸籍事務関係システム等の機器を購入する予算である。

生活環境課

川島さゆり　交通危険個所対策工事とは。

生活環境課長　中部小通りと新幹線側道の交差点の町道の舗装を改良する予定である。

内堀次雄　県道借宿小諸線のグリーンベルトが狭く、登下校時に危険を感じているが。

生活環境課長　県に要望しているがなかなか進展しない。引き続き強く要望をしていく。

篠原公子　ラウンドアバウトについてのアンケート結果は。

企画課長　多少の反対はあったが賛成する人が多かった。

荻原宗夫　外灯新設工事で、何基増設するか。また電柱1本置きという規定があるが、電柱が離れている場所は。

生活環境課長　年間30基の新設とLED化も進めていく。電柱の離れている場所は、可能な限り対応する。

土屋春男　町中にのぼり旗が目立つがその対策は。

生活環境課長　職員が町内を巡回し指導している。

また、新設される商店等には、誓約書の提出をお願いしている。

荻原宗夫　犬の多頭飼育については、要綱や条例で規制することは考えられないか。

生活環境課長　犬に関しては、法律で定められた上での飼育であり、町で規制をして軽井沢から追い出せば良いという訳にはいかないので、県を中心として対応している。

狭いグリーンベルト

予算を3日間集中

住民課

篠原公子　保育士研修は、どのような研修か。

住民課長　昨年は事故対応に付いて行い、本年は食育について研修をする予定である。

川島さゆり　幼児2人乗り自転車補助が昨年より減額されているが。

住民課長　過去において利用者が少ないので、実績を見て減額とした。

土屋春男　中保育園の照明をLEDに変えるようだが、今後の予定は。

住民課長　昨年南保育園を実施、本年度に中保育園を実施、来年度は西保育園を予定している。

保健福祉課

佐藤敏明　障がい者のための就労継続支援費が昨年の予算に比べ3倍に増えているが。

保健福祉課長　国の福祉政策が変わり、利用者の増加が見込まれるためである。

篠原公子　個別予防接種委託の内容は。

保健福祉課長　子宮頸がんワクチン・4種混合ワクチン・肺炎球菌ワクチン等の接種委託である。

観光経済課

内堀次雄　直売所について、内容、運営方針などまだ話し合われていないのに、新設設計予算が計上されているが、これで町として理想的な直売所がつくれるのか。

観光経済課長　4月より早急に検討委員会を開催し、内容について検討していただく。また町としてもしっかりとした方向性を示し、設計に入っていきたい。

土屋正治　場所について、将来的な農業振興を踏まえた農業公園的な施設と、便利な場所に直売所を設けるような二面性を持った取り組みは。

観光経済課長　広大な農地のある一角に、集客施設にもなる直売所を建設し農業と観光の連携を強化したい。

大浦洋介　私の一般質問で追分の土地を提案したが、5つの候補地の中に組み入れなかった理由は。

観光経済課長　今回の直売所建設にあたっては、農家の方の出荷の利便性と利用者の交通事情等を考慮し、南地区を選定した。

内堀次雄　間伐推進事業で昨年民有林の間伐についても積極的に検討するということだったが、町として民有林の間伐について働きかけをしたか。

　また、民有林の間伐事業に取り組むつもりはあるのか。

観光経済課長　町としては、民有林の間伐については県に要請していく。

内堀次雄　町の森林整備計画の中で有害鳥獣被害対策として、昨年、緩衝帯整備が急務と示したが、今年の予算にどのように反映されているのか。

　町の農林係はもっと主導的に整備を進めてほしいが必要性をどう考えるか。

観光経済課長　緩衝帯整備等については、25年度予算に計上されていないが、委託先事業者や民間団体の皆さんによる緩衝帯づくりは、クマ対策に効果が出ているので農林係としても今後検討していく。

大浦洋介　私は、社会委員長として課長に対して、2度ほど「有害鳥獣被害予防対策協議会」を開催してほしいと申し入れをしたが、開催されなかった理由は。

観光経済課長　今まで開催できなかったことは、大変申し訳ありませんでした。3月下旬に予定しています。

荻原宗夫　アライグマ等対策事業委託の実態と効果は。

野生動物との遭遇を防ぐ緩衝帯

観光経済課長　平成24年度は、センサーの設置、生態調査等と業務日誌などの報告を受けている。実績は、ハクビシン10頭を捕獲した。

建設課

市村守　各公園維持管理委託の内容は。

建設課長　都市公園に指定されている15か所の芝・草刈清掃業務をシルバー人材センターに委託している。

土屋好生　風越公園総合グラウンド人工芝生化は、野球、サッカー等のスポーツが支障なくできるのか。

建設課長　サッカーコート1面であれば、ピッチャーマウンドに支障なく取れる。新年度に関係者と協議をして設計に入る。

消防課

荻原宗夫　消火栓新設負担金について何基、どこに設置されるのか。

消防課長　水道管の敷設替え時等に消火栓を設置し、消防課の予算で10基予定されている。

教育委員会

内堀次雄　教員住宅は、半分しか使われていないようだが。

教育長　教職員が職員同士の共同住宅への入居を嫌い、民間アパートを借りる傾向にある。

篠原公子　学校保健事業の血液検査の内容は。

教育次長　5・6年生が対象で、血液検査一般と貧血検査、コレステロール検査を実施している。

土屋好生　以前、学校給食がまずいと保護者から話が出ていたが、その後、原因調査などをしたか。

教育次長　学校給食の委託が始まった当初、栄養指導職員と現場サイドの連携が悪かったということで、その後は改善されている。

市村守　PCBの処理は、変圧器の交換工事の時点でわかっていたのではないか。今年度に処理費が計上されている理由は。

教育次長　PCBの含有量は、変圧器を取り外した後でないと調査ができない。また、処理のできるところが限られており、時間がかかるため処理費は、今年度に計上した。

篠原公子　新入学児の送迎用の車借上げとは。

学校教育係長　バス利用の新入学児童が給食の始まるまでの間、帰宅時間とバス運行時間が合わないので送迎車を用意する。

佐藤敏明　管理備品とあるが、具体的に備品名を書いたほうが分かりやすいのではないか。

教育次長　管理備品は、毎年必要になる物が違うので、予算計上では「管理備品」となる。今後、具体名を入れられるか検討していく。

市村守　校内電話設備工事で教室等に電話を設置予定だが、校内には放送設備があるので、災害時等は対応できるのでは。

教育長　現在、危機管理が大きく問われている中で、担任の先生もできるだけ教室にいる必要がある。外部からの電話の都度、教室を離れることは避けたいと考えている。

荻原宗夫　塗装工事は、総合建設業者でなく、直接塗装工事業者に発注を考えているか。

財政課長　指名参加願いが出ている塗装業者の中から選定する。

横須賀桃子　アフタースクールの先生は、どんな方を考えているか。

教育長　昨年も軽井沢中学校に来ていただいた数学の先生と、本年度早期退職をされる中学校の英語の先生の2名を予定している。

土屋浄　文化財保護については、基準を設けるべきだが。

教育次長　深山荘については、建物の調査ではなく、文化的な意義があるかどうかの調査をする。

文化財の基準については、今後検討する。

佐藤幹夫　図書館のアーカイブシステムとは。また、使用料は。

教育次長　アーカイブとは、町に保存されている画像データや町の広報誌等をデジタル化して、インターネット等でも見ることができるようにするもので、使用料についてはサーバー等の年間使用料である。

川島さゆり　三笠ホテルのライトアップは、どのような色か。また、期間は。

教育次長　時期は、紅葉の秋を考えている。色等の詳細については、これから決めていく。

土屋正治　周辺の木に光を当てることによって、木に悪影響はないのか。

教育次長　ライトアップは、午後9時頃までを考えているが、影響はないと考える。

佐藤幹夫　三笠ホテルのライトアップと白糸の滝

画像としてよみがえる古い写真（アーカイブシステム）

のライトアップを連携すれば、相乗効果があると思うが。

教育次長　検討させていただく。

佐藤敏明　堀辰雄記念館の資料代100万円とは。

教育次長　貴重な資料が出た場合に購入するための予算である。

土屋正治　マレット用具の管理を愛好者に委託できないか。

教育次長　管理棟もなく、難しい。

上下水道課

土屋浄　外部委託が多いが、職員でできないか。

副町長　行政改革で職員数を減らす中、専門職を雇用せず外部に委託できるものについては、委託をしていく。

市村守　以前に工事をしてそのまま復旧されていない場所があるが、その対応は。

副町長　現在は、下水道工事の後、すぐに舗装工事をしているが、以前の工事の分で残っているところがあるが、計画的に工事を進めていく。

土屋正治　町水道は、クリプト※検査を行っているか。

上下水道課長　表流水、湧水には、クリプトが出る可能性があるので検査をしている。現在出ていない。

（※クリプト＝クリプトスポリジウム　感染すると2～5日で激しい水様下痢を発症する病原性原虫）

病院事業会計

土屋正治　研修費は、医師からの要求を十分に満たしているか。

病院事務長　医局との話し合いの中で、研修回数の増などを見ての予算である。

川島さゆり　光干渉断層計（ひかりかんしょうだんそうけい）とは。

病院事務長　眼科の先生からの要望で、緑内障等の検査に有効な機器である。

予算特別委員会審査中

総務常任委員会 社会常任委員会 連合審査会

平成24年度 補正予算

佐藤敏明　役場隣の土地の値段は交渉を始めた時と比べると評価額に変動があったと思うが、交渉値段はそのままか。

総務課長　いろいろな協議がなされ、長引いてしまったが、交渉金額に変わりはない。

荻原宗夫　国際交流の補助金が設立された当初より利用者が減っているが、理由を把握しているか。

総務課長　カーリングやスキーのグループでの交流の予定はあったが、それぞれの理由で行われなかった。

柳澤講次郎　町づくり研修講師の講師料が使用されていないが。

企画課長　新しい委員に替わり、使用するタイミングが合わなかった。

篠原公子　子宮頸がんワクチンの予防接種の予算が減っているが。

保健福祉課長　接種対象の中学3年生の半数くらいしか接種しなかったためである。

篠原公子　若い人ほど接種を受けてほしい。学校でも癌教育をする必要があると考えるが。

教育長　校長会を通して、健康教育の中で癌教育も盛り込んでいきたい。

内堀次雄　遊休農地の草刈りの予算が減っているが。

観光経済課長　一般業者に頼む予定がシルバー人材センターに頼んだための差金である。

内堀次雄　道路側溝他委託の予算が減額になっているが、予算が余るようなら清掃回数を増やせないか。

建設課長　台風などに備えて予算を組んでいるためにできた減額である。現在、道路清掃は、年4回行っているが、清掃システムについては考えていく。

荻原宗夫　私立幼稚園の経営は厳しいと聞くが、補助金を増やせないか。

教育次長　交付要綱に基づいて交付しているが、検討していく。

※連合審査会とは付託された議案を2つの常任委員会で審査が必要と認めた場合に行うものです。なお、討論・採決は付託された委員会で行います。

地方分権の推進 国から町へ

◆3月定例月会議（2月27日から3月19日までの21日間開催）

議案36件を全会一致にて原案どおり可決。報告9件を受け、諮問1件を全員にて同意、要望1件を全員にて採択しました。陳情1件は、継続審査となりました。

平成25年度予算については、予算特別委員会を設置し、全員にて審査しました。

議案（主なもの）

地方分権一括法関連条例概要説明

これまで国が法令で事務の実施やその方法に制限をかけてきた地方公共団体の自治事務について、義務付け・枠付けの見直しと条例制定権の拡大が進められ、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」いわゆる「第1次一括法」、また「第2次一括法」が公布され各種法律の整備が行われた。

《条例の制定》（◎地方分権関連条例です）

◎地域密着型※サービス事業者及び地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準です

・入所定員29人以下。申請者は法人であること。

◎地域密着型※サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準です

（この条例は要介護認定者を対照とするものです）

・サービス事業ごとの人員、設備、運営に関する基準。
・安価な自己負担で利用できる多床室の設置。
・サービスに関する記録の保存期間が2年から5年。

◎地域密着型※介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準です

（この条例は要支援認定者を対照とするものです）

・サービス事業ごとの人員、設備、運営、効果的な支援の方法に関する基準。
・サービスに関する記録の保存期間が2年から5年

（※地域密着型……町民だけが利用できる介護保険サービス）

◎町道の構造の技術的基準等を定めます

・車道、歩道、自転車歩行者道、橋等の技術的な基準を定める。

◎町道に設置する道路標識の寸法等を定めます

・案内標識、警戒標識、補助標識の寸法、文字等の大きさを決めることができる。

《条例の一部改正》（◎地方分権関連条例です）

◎重要文化財・旧三笠ホテル条例等の改正です

・オリンピック記念館が閉館になるので、入場共通券の料金が引き下げになる。

◎廃棄物の処理及び清掃に関することです

・じん芥処理場に置く技術管理者の資格要件を定める。

◎町営住宅に関することです

・新たにユニバーサルデザインを町の基準とした。
・入居資格要件と入居者の優先的選考の見直し。

◎都市公園等に関することです

・軽井沢町都市公園条例の一部を改正する条例の一部改正
・使用料の改正
・オリンピック記念館が閉館し、カーリングホールオープンによるもの他。

主な補正予算

◎平成24年度一般会計補正予算　［6億1971万円減額］

・国庫支出金　社会資本整備総合交付金　5億8546万円減額他

・地方特例交付金　2871万円減額他

◎駐車場特別会計補正予算　［500万円増額］
・駐車場使用料　500万円増額

◎公共下水道事業特別会計補正予算　［2403万円減額］
・受益者負担金、下水道使用料　1590万円増額他
・一般会計繰入金　4000万円減額他

◎介護保険特別会計補正予算　［4868万円減額］
・介護サービス給付費　4100万円減額他

◆2月会議（2月1日開催）

議案2件を全会一致にて原案どおり可決。報告1件を受け、議会からの提案1件を全員にて決議しました。

議案

◎交通事故に係る損害賠償の額を定めました

◎平成24年度一般会計補正予算
・交通事故損害賠償金です

専決処分の報告

◎平成24年度勤労者体育センター解体工事変更請負契約の締結です
・樹木の伐採本数の増加等による増額です

議会より提案

◎2020年オリンピック・パラリンピック競技大会東京招致に関する決議

2020年 オリンピック パラリンピック 競技大会

東京招致に関する決議

軽井沢町議会では、当町が1964（昭和39）年東京オリンピックで総合馬術、98年長野冬季オリンピックでカーリングと、国内で唯一、夏・冬のオリンピック競技を開催した町であることや、世界に誇る歴史と文化、心癒される美しい自然を有する軽井沢町にとっても、その魅力を発信する絶好の機会になるため、2020年夏季オリンピック・パラリンピックの東京招致活動に協力することを決議しました。

住民サービスの向上を

指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の制定

袖山卓也　国の一括法により、町で基準を決めるが、条例制定等をして町の事務量は増えるか。また権限・財源は町に来るか。

総務課長　財政措置はない。国が定めて指導していたものを、町が定めて指導するようになるので、事務量は変わらない。

土屋浄　居室の定員は原則1人とすることになっているが、町長が必要と認めた場合は2人以上4人以下とすることができるとあるが。

保健福祉課長　2人以上4人以下とする多床室にすることで、居住費の負担を軽くすることができることから規定を設けた。

高齢者、障害者等の移動等円滑化のために必要な新設特定道路の構造の基準を定める条例の制定

荻原宗夫　新設道路等における構造の基準が定められるが、現在、この基準にあてはまらない町道はあるか。

建設課長　現在の施行状況では、既存の構造令によって歩道の段差は2センチで施工はされており、基準に当てはまらない町道はない。

内堀次雄　特定道路は当町に存在しないとのことだが、相当数の高齢者、障がい者等が利用するという、この数字の基準というのは。

建設課長　限られた地域に、例えば、福祉施設、役場、病院施設等が1キロぐらいの範囲に固まっていて、なおかつ歩行者の数が相当数ということであるため、当町には現在ない。

公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正

内堀次雄　町の振興公社が一般社団法人になるが、公益財団にならないのか。

副町長　法人制度の改正により、一般か公益かの選択をする必要があり、県と開発公社で協議をした。

県の見解は、開発公社に自主事業がなく公益的な自主事業に該当しないことから、一般社団法人となった。

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

市村守　資格を持っている人を置かなければならないが、その人たちの手当は考えているか。

生活環境課長　資格要件を満たしている職員はいるが、手当等を充てるということはない。

副町長　今回の条例の一部改正は、資格要件を定めるものである。

10年以上廃棄物の処理に関する技術上の実務に従事した経験を有する者が資格要件で該当するということであり、資格があるということではなく、資格要件を満たす職員が6名いるということである。

町営住宅に関する条例の一部改正

袖山卓也　ユニバーサルデザインを、当町の新たな基準としたが、明確な基準はあるか。

企画課長　ユニバーサルデザインは、バリアフリーとは物事が違い、つくる前からなるべくいろいろな人に障害を与えないようにということで、それぞれが少しずつ我慢するという要件も入っている。

より使いやすい料金体系に

町都市公園条例等の一部改正

篠原公子　軽井沢風越公園カーリングホールの料金改定は当然だが、この額はどこを基準にして設けられたのか。

建設課長　北海道のカーリング施設の料金設定を参考に改定をした。

荻原宗夫　新料金体系だと、約8倍の料金がかかる。これでは各種大会が運営できないが、どう考えるか。

建設課長　料金設定で各種大会という質問だが、現在も減免措置があり各種大会は行っている。減免規定は近々に改めてつくる。

荻原宗夫　各施設の料金体系の中に、アマチュアスポーツ等に使用する場合と、それ以外に使用する場合と2つ料金体系があるが、それ以外とは何を指すか。

建設課長　プロレベル等も考えての料金設定をしている。

内堀次雄　アイスパークの利用パンフレット等に各種大会について、減免措置があることを書く必要があるのではないか。

建設課長　パンフレットには入れないで、別の方法で考えていく。

町長　カーリング競技は横のつながりが非常に強いスポーツなので、アイスパークの減免措置があることは、横のつながりや、口コミで伝わると思う。

佐藤敏明　スケートは利用人数が減少しているので、減免を考えられないか。

建設課長　風越公園で開催される大会については、統一基準で減免を考える。

横須賀桃子　夏季のローラースケートリンク、フットサルコートの利用時間が8時から午後5時までになるが、下校時間を考えると、子どもたちが使えないと思うが。

建設課長　登下校の時間等を考慮していなかったが、これらについては指定管理の中で、利用者が多いようであれば、遅くまでやるようになると思う。

横須賀桃子　去年までは仮だったということもあり使用料が無料だったが、これからは有料となり子どもたちのお小遣いには高いと思うが設定理由は。

建設課長　施設整備や維持管理に経費がかかるので、料金的には適切だと思う。

《軽井沢風越公園カーリングホール使用料》

区分		一般	小・中学生	小学生未満	備考
普通使用	町民	400円	200円	無料	1回1時間 1人当たり
	町外者	800円	400円		
占用の場合	アマチュアスポーツ等に使用する場合	町民	1シート1時間　2,000円		
		町外者	1シート1時間　4,000円		
	上記以外に使用する場合	町民	1シート1時間　4,000円		
		町外者	1シート1時間　8,000円		
会議室		1室 1時間　1,500円			

開催のお知らせ

議会とまちづくりを語る会

「議会とまちづくりを語る会」を下記のとおり開催します。
多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

開催日	開催場所／時間
5月21日(火)	旧軽井沢公民館 午後7時から9時
5月23日(木)	中軽井沢区民会館 午後7時から9時
5月24日(金)	借宿公民館 午後7時から9時

※議会だより（97号、98号）をご持参ください。

社会常任委員会

中部小学校PTAの「要望」を採択

放課後子供プランに関する要望　採択

【要望者】
中部小学校PTA会長
中嶋剛登

【要望要旨】
放課後子供プランの実施に当たっての要望
一、教室の建設計画に関する説明会を開催して欲しい。
二、PTAとして意見の集約ができるまで、建設計画の遂行を一時中断して欲しい。
三、子供達の安心・安全の立場からPTA側の代替案（校舎内又は校舎の隣接地に設置）についても検討してほしい。

【採択する主な理由】
子供達の安心・安全の立場から、設置場所としては東部小、西部小同様、校舎内若しくは校庭隣接地も、選択肢の一つとして検討されるべきである。

中部小学校放課後子ども教室の建設に関する陳情　継続審査

【陳情者】
東部小学校PTA会長
松葉和彦

【陳情要旨】
中部小学校の放課後子ども教室は、児童の安全確保の立場から、校庭西側の空き地又は校内ランチルームの吹き抜け部分に設置すべきである。

【継続審査とする主な理由】
関係者の意見集約ができていない現時点では、設置場所を二箇所に限定することはできないため。

委員会での主な審査内容（質疑）

問　町民の健康寿命を調査することも必要と思うが。
保健福祉課長　今は、把握していないが今後、研究する。

問　特定検診で血液検査で異常が認められなかった人が、その後白血球に異常が見られた。もう少しきめ細かな診断があってもいいと思うが。
住民課長　来年度から白血球についても受診するように通知する。

問　循環バスの中には、乗り継ぎに不便な路線があるが改善できないか。
生活環境課長　来年度のダイヤ見直しの中で、乗り継ぎ時間についても検討していく。

問　改修した町営住宅の中に、U字溝が波打っているところがある。
住民課長　利用者の立場で整備していく。

総務常任委員会

地方分権一括法により町の自立性は高められるか

町道の構造の基準を定める条例

問　この条例案を作るにあたり、使う住民の意見を聞いたか。
建設課長　今後、新設の道路については、意見聴取を行いたい。

問　歩道は2m以上となっているが、歩道の有効幅員は。
建設課長　条例に含まれていない。有効幅員については考えていきたい。

問　十字路・T字路の角きりは条例にあるのか。
建設課長　角きりのアールは道路幅で決まる。この条例でなく道路構造令で規定されている。

問　曲がったり向きが違った標識が多くあるが。
建設課長　規制看板は公安委員会で、それ以外は町で直す。

町施設の料金

問　公園内の施設の料金が改定されたが、減免を受けるのにはどこへ申し込めばよいのか。
建設課長　受付は風越パークコーオペレイション（振興公社）

問　70歳以上の人の料金は。
建設課長　小学生以下は無料だが、70歳以上についても考えたい。

町道に設置する道路標識の寸法を定める条例

問　標識を縮小すると字が見えにくくなるが。
建設課長　状況により縮小も拡大もできる。

問　別荘地の消火栓の標識が付いていない所がある。
消防課長　後追いで付けていたが、予算を確保して付けたい。

他に当委員会では、条例の制定5件、条例の一部改正5件、補正予算4件の、計14件について審査を行い、いずれの議案も原案可決すべきとの報告をしました。

他に当委員会では、条例の制定5件、条例の一部改正2件、補正予算5件の計12件について審査を行い、いずれの議案も原案可決との報告をしました。
また、要望1件、陳情1件について審査を行いました。

軽井沢町のグランドデザインづくりは進んでいるのか

町　長

任期にとらわれず進めて行く

政策集団シリアス　代表
袖山卓也

問　残された任期で町の重要となるグランドデザインをどのように実現していくのか。

町長　平成25年で地区ごとと全体のデザイン像の検討に入り、26年度でデザイン像の作成にはいる。地元の意向を踏まえながら進めるのに時間はかかる。

別荘文化の取り組みは

問　別荘文化は、物ではなく多くの文化人や政財界人による避暑地での活動や生活の歴史風土そのものである。これを守り育てていくことが必要と思うが。

町長　今までは歴史の偶然で作られてきたが、これからは仕掛けていくことが重要で、すでに始まっている。歴史の保全も重要である。

出前行政懇談会は

問　行政が地区に出かけて、不特定多数の人たちから様々な意見を聴くことは大事だと思うが。

町長　日頃より多くの要望や意見を聴いている。事業を進める折には直接出向いて説明や意見を聴いている。

脱温暖化の取り組みは

問　企業や家庭の脱温暖化への取り組みはすすんでいない。取り組みに工夫が必要と思うが。

町長　今までも様々な取り組みをしている。子どもが温暖化問題について学習をしたり、対策を更に進めていく。

教育行政の強化と教育制度

問　教育問題は複雑多岐にわたり解決は難しい。教育委員会の事務局には、経験豊富な指導主事が必要と思うが。

また、スポーツと文化に力を入れるべきで、教育委員会から住民に身近な町長部局へ移すべきと思うが。

町長　多くの問題が顕在化する中、教育主事については効果が期待できるので考えたい。

スポーツ・文化を町長部局へ移すことは、サンプルが少ないため調査・研究を進めたい。

軽井沢農業の将来は

問　町としても様々な施策をしているが、経営農家数は減り続けている。町として解決策はあるのか。

町長　「人・農地プラン」の事業で、今後、農地を使ってどのように農業を進めていくか地域での話し合いが始まっている。農家の皆さんと軽井沢農業を考えて行きたい。

商店街が生き残るには

問　経営者は後継者もなく、老齢化し商店街の再生に手だてがない。町は計画立案の段階から積極的に関わっていく考えは。

町長　商店街の衰退が地域力の低下に繋がっていることは、深刻に捉えている。商工会や商店街から活性化の提案や企画を頂いた際は、町は積極的に関わっていく。

別荘文化の取り組みは

50年・100年後の軽井沢町の将来像は

町　長

遠い将来、長期的展望に立って将来図をつくる

会派 考　代表
市　村　　守

都市デザイン室における将来計画の進展状況は

問　50年、100年後の将来像を見据えた大ビジョンの想定。コンパクトなまちづくり計画の策定。町内それぞれの地域の特色を生かした拠点整備はどこまで進んでいるのか。これらの計画は、任期中に達成できるのか。

町長　50年、100年という年数にこだわらず、遠い将来、長期的展望ということで解釈している。将来占いでなく、一定の将来は予測するものの、それを言い当てる事業ではない。役場外にいろいろな知恵を求めるなど現体制で精いっぱい進めたい。

　また、全庁的な形で各課を横断しての企画立案、執行等、期待に応えられるよう努めていく。

町長事務部局の内部組織の検討結果は

問　佐久広域の職員である軽井沢消防署長が、町の消防課長を兼務しているが防災は町職員が取り組むべき仕事と考えるが。

町長　町、消防組織及び消防団の三者の連携を図り、迅速な救助活動、災害対応には、消防課長との兼務でのメリットは大きい。多岐にわたる災害に対応する策の一つとして今後も模索していきたい。

問　観光経済課から農林係を切り離して農林課の復活は。

町長　観光部門と農林部門の連携を図った蕎麦（そば）によるイベント等により成果を上げたものもあり、現在計画中の農産物直売所も、観光と農業による6次産業として地域の活性化を期待している。

　観光と農業の連携は現在十分に機能しているとは言い難いが、ただ単に農林課を復活させれば山積する課題を克服できるわけでもない。直売所の新設などの状況の変化の中で検討していきたい。

スポーツ施設の充実で誘客を

問　テニスコートやスケートリンクへの屋根等の設置及びアイスホッケーリンクを増設するなど、大きな大会が開催できる環境を整備することにより、更なる誘客が図れると考えるが。

町長　町内につくるスポーツ施設は、「国際大会が開催できる」施設を、の考え方は常に念頭に入れておかなければならない。町の規模や住民の理解、競技人口など幅広い見地から検討する必要がある。

スポーツ施設の充実を（総合体育館鳥瞰図）

教育現場での ＩＣＴ*活用を

横須賀 桃子

教育長

教員のＩＣＴ研修会への参加や授業での活用を支持していきたい

＊ＩＣＴ：インフォーメーション アンド コミュニケーション テクノロジー（情報通信技術）の略

問 日本と欧米や近隣のアジア諸国を比べると、教育現場で学習意欲を高める有効な手段の１つであるＩＣＴ導入がとても遅れている。当町でのＩＣＴ活用はどうなっているか。

教育長 現在各校に、児童・生徒用にパソコンを40台設置し、各教科や総合的な学習に活用している。また、各教職員にも１人１台のパソコン環境を整備し、授業に活かすための資料収集や教材づくり、学校業務に活用している。

町では、平成21年度に電子黒板を各小中学校へ１台設置したが、活用についての報告は、音楽・技術・社会・理科等の授業など少ない活用となっている。

ＩＣＴを活用した授業は、手段として有効だが活用についての研修は情報教育担当者レベルの先生方の利用にとどまっているのが現状である。

県でも、25年度予算に新規事業としてＩＣＴを活用した確かな学力育成事業、3298万円を計上した。内容は、ＩＣＴ推進研究委員会の設置とタブレット端末の整備である。県内では、24年度に教師向け研修講座も小・中・高校と特別支援クラスを対象に３講座設定したが、参加した先生は50名弱である。25年度は、県の方針で６講座に増設した。当町でも教員の研修会の参加や授業での活用を支持していきたい。

問 軽井沢町の教育未来図として、これぞ当町の教育特色だというビジョンはあるか。

教育長 軽井沢町の文化や自然の豊かさを感じたり、地域の方々の知恵や町の匠の技等の英知に触れ、物とふれあい、人とふれあうことにより子どもが育ち、将来の生きる力につながってくる教育構想を当町の「こぶし教育」*として位置づけたい。

また、家庭教育を含めた地域の方の参画による開かれた学校がますます重要と考える。そして、多くの外国人が暮らしているという当町の特性を生かした、特色ある教育の推進を検討していきたい。なお、建て替えを進めている中学校新校舎には、ＩＣＴの活用も検討したい。

※こぶし教育
こ…心豊かに
ぶ…文化を育て
し…自然を愛する

絵：マイクロソフト ～教育機関向け～タブレット端末のススメより

レアメタルの回収を

川島　さゆり

生活環境課長

認可を受ける業者と連携を取り、準備体制を整えていく

問　レアメタルの宝庫である携帯電話のリサイクルで当町として取り組めることはないか。

生活環境課長　現段階では、町で回収をしていないので、事業者自主回収処理を奨励する広報等、町で実施していく。

問　新潟市、安曇野市等の先進自治体の小型家電回収事業（ボックス回収等）を研究しているか。

生活環境課長　県下3カ所の自治体で始まることは、認識している。認定業者の動きを見て、回収条件、収集方法等検討していく。

問　レアメタルの実態の周知、町民へのリサイクルの必要性、情報提供はどのようにするのか。

生活環境課長　広報「かるいざわ」等で周知していく。

問　今できる啓発活動で、「携帯電話は捨てない。廃棄する場合は購入店へ持ち込む。」を明示できないか。

生活環境課長　今できることなのでレアメタル回収の意義を強調し周知していく。

問　携帯電話のリサイクル等を学校での環境教育に取り入れられないか。

教育次長　各学校の総合学習の中で取り入れられないか検討する。

問　小型家電の分解、解体作業を「障害者自立支援法」に基づき、就労支援につなげられないか。

生活環境課長　福祉作業所等団体と事業者が提携できれば可能と考える。

破砕機による情報漏洩防止

携帯電話の個人情報漏洩が心配でリサイクルしない方が多い中、目の前で破砕処理をしてくれる企業がある。東京都港区は、行政の回収ボックス横に破砕機を設置し、自分自身で破砕している。

レアメタルの宝庫である携帯電話

子ども支援ネットワークの設立を

篠原公子

町長

それぞれの立場に沿った支援体制ができるよう十分検討したい

問 町では、悩みを持った児童・生徒や保護者の支援のため、スクールサポーター制度を導入して10年が経過した。今、相談件数も要求も多様化しており、療育支援の体制を整える時だと感じている。10年の成果と今後の課題は。

教育次長 専門家により、子どもたちの環境が変わっても、一貫した支援が行われている。課題は、相談件数の増加、相談内容の多様化でスクールサポーターが本来の業務に専念できる体制づくりが必要と考えている。

問 現状では、一番支援が必要な乳幼児期から就学前の子どもたちへの体制が弱いと思うが。

住民課長 保健師による5歳児健診の実施、新たに年1回、全園児の発達状況を観察し、保護者の相談会も実施していく。

問 障がいのある子どもたちの社会的自立を支援するため、「子どもネットワーク協議会(仮称)」などの、体制づくりが必要と考えるが。

教育次長 支援を必要とする子どもたちを継続的にサポートしていくために、保健センター、保育園、小・中学校が連携する委員会等が組織されているので、その中で充実を図っていきたい。

町長 特に乳幼児期、そして中学卒業後の当事者に沿った支援体制が重要と聞いている。10年を契機にさらに充実するよう、今後十分に考えていきたい。

子どもが読書に親しむ図書館づくりは

問 図書館長の思いは。

教育次長 児童コーナーで寝そべって本を読んだり、母親の読み聞かせに耳をそばだてる子ども、図書館で待ち合わせをする親子等々、子どもたちが思い思いに自由に過ごせる場所として、整えていきたいと考えている。

問 図書館は利用者・来館者を増やすことが大事だが、幼稚園・保育園の行事や、小学生の図書館見学会など開催しては。

教育次長 良い提案だと思うので担当課と協議して検討したい。

問 ブックスタートは、赤ちゃんを抱っこして絵本の楽しさを分かち合うことに意義がある。セカンドブックも子ども読書のイベントとして、入学時期に実施するなど事業の見直しをしては。

保健福祉課長 教育委員会とも検討していきたい。

子どもたちでにぎわう中軽井沢図書館

直売所事業を新しい観光拠点に

町長

野菜売り場にとどまらず、楽しさや美味しさを売る場にしたい

土屋　浄

問 直売所の計画は。

観光経済課長 下発地の南保育園北側に約1万5〇〇〇平方メートルの土地を来年度取得し、平成27年開業する。今月中に検討委員会を立ち上げて詳細を詰める。

問 どういう理念、考え方か。

観光経済課長 理念は農業振興の起爆剤、農・観・商の融合、6次産業化、農産物のブランド化、地域の活性化だ。新たな観光ルートの確立も考えている。

商品豊富な「伊那市グリーンファーム」

問 まず考え方として、直売所、直売所と言われているが、野菜などの売り場づくりという狭い考え方にとらわれないでまちづくりの観点から大きな構えが大事だ。私はかつて下発地を中心とした「軽井沢園芸ランド」構想を町民に示したことがある。それは、直売所を中心としつつ、利用者の要望を順次実現する手法で加工所、レストラン、バーベキュー広場、ウサギやヤギのミニ動物園とファミリーで楽しめる空間に発展させることで南部農村部に車が向かい新しい観光拠点が生まれるという構想だった。今度の事業は農業の振興と合わせて町の観光ゾーンを思い切って広げるチャンスととらえてはどうか。遊休農地を活用した小物野菜づくりも大きく広がることだろう。

町長 質問を聞いて感じたことを述べたい。本当に重要な指摘がいくつかあった。今ある直売所より少し間口を広げたものをつくればよいということではいけない、との指摘はそのとおり。「軽井沢園芸ランド」の話もネーミングの大切さを考えさせるすごい指摘だ。単に野菜を売るというのでなく、楽しさを売る、美味しさを売ることをコンセプトに据えないと。湯布院（大分）の話も出たが、あそこは私もよく知っていて、地域の連携が素晴らしいところで、物やお金の地域内循環などを参考にしたい。「地産地消」とともに「地消地産を」という点では、調理するシェフの側から必要とする食材の供給を生産者に頼むということは大事な発想だ。

いろいろ触発される質問で、町としてさらに考えを深めて検討していきたい。

直売所事業の内容は

観光経済課長

発地地区に１万5000平方メートル
平成25年に用地買収、平成26年度着工予定

土屋春男

問　直売所用地の場所は決まっているのか。

観光経済課長　５ヶ所の候補地の中から現在の場所を決めた。

問　用地面積を決めた経緯は。

観光経済課長　直売所施設、加工施設、飲食施設、また大型バスの停められる規模を想定して現在の直売所施設の約５倍の１万５０００平方メートルを予定している。

問　建物全体はどの程度の規模を考えているのか。

観光経済課長　野菜販売、加工品売り場、加工スペース、飲食施設を考慮して約２０００平方メートル前後を想定している。

問　実施計画段階においては、町単独事業として予定しているが、補助事業補助金の活用は検討されているのか。

観光経済課長　農作物直売所にそのままの補助他いろいろな補助金の形態の中で、どれを使ったら良いか県の担当者と協議中である。

問　直売所の運営について、運営主体はどのような形態を考えているのか。

観光経済課長　運営形態は町が主体として考えており、これから指定管理制度等の導入について検討していくことになっている。

問　運営管理費等の負担又運営において赤字の場合も含めた費用の負担はどこがするのか。

観光経済課長　町としては公の施設として設置し、指定管理制度に基づいて進めたいと考えている。

問　実施計画（25～27年度）の今後の取組みについて予定通りに進んで行くのか。

観光経済課長　25年度に用地買収と設計をして、26年度着工に向けて進めている。

問　建設検討委員会の人数とメンバーは。

観光経済課長　直売所の運営委員会、農業委員会、ＪＡの各支部会、それと観光協会、商工会、食品衛生協会、また県の６次産業化サポートセンター、農業改良普及センター等、20名程度である。

問　建設に対して地区関係者、町民に対しての説明会、意見の場を求める機会を考えているか。

観光経済課長　建設検討委員会で検討していく中で、当然色々な施策に対して町民の意見を聞く方向で必要な時期に説明会を開いていきたいと考えている。

建設予定地周辺

NEWS FROM OUR SCHOOL!!!!

Karuizawa Seibu Elementary School

新入生47名を迎え、いよいよ平成25年度がスタートしました。軽井沢西部小学校では、学校教育目標「○本気で勉強や仕事に打ち込む子　○みんなで仲良く助け合う子　○健康や安全に心掛け、進んで体を鍛える子　○郷土軽井沢を愛する子」を掲げ、次のような特色ある活動を展開しながら、**こ**（心豊かに）**ぶ**（文化を育て）**し**（自然を愛する）教育を進めています。

① 継続した交流活動

姉妹学級を中心とした交流活動や縦割り清掃等、異年齢とのふれあいを大切にした活動を多く取り入れています。また、西保育園や聖パウロ幼稚園との交流（1・2年）や、敬老園のお年寄りとの交流（3年・児童会）等を通し、思いやる気持ちを育てています。

② ふるさとの自然や文化に触れる学習

追分節保存会やＮＰＯ法人「ピッキオ」の方々にご協力いただきながら、追分節や熊を中心とした野生動物の生態等について学んでいます。その他、ＰＴＡ交流部の協力の下、毎年7月には「しなの追分馬子唄道中」に学校を挙げて参加しています。

③ 脈々と続く伝統行事「八風山強歩登山」

自分のめあてに向かって頑張る強歩登山（往復26km）を、100名を越える保護者に補助員をお願いしながら、毎年10月に開催しています。昭和39年に石尊山への全校登山として始まったこの行事も、浅間山の噴火をきっかけに平成14年度から目的地を八風山に変更し、もうすぐ半世紀を迎えます。

（軽井沢西部小学校）

編集後記

この4月で編集委員の委員構成が替わるため、議会だより98号作成が最後の仕事になりました。

編集の仕事で注意しことは、間違ったことは書けない、写真は個人情報保護の観点から承諾等をもらうなり、簡単には使用できないなど大変に苦慮しました。

以前は、あまり気にせずに写真を使用していましたが、時代は変わったものです。

分かりやすい広報にするよう心掛けましたが、いかがだったでしょうか。

町民の皆様から暖かなご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございました。

（柳澤）

議長　大林　義博
委員長　柳澤講次郎
副委員長　荻原　宗夫
委員　横須賀桃子
土屋　好生
市村　守
内堀　次雄

－発行－
平成25年4月20日
長野県北佐久郡軽井沢町
軽井沢町議会
〒389-0192
☎0267（45）8910
－編集－
議会広報編集委員会
－印刷－
有限会社東城印刷
☎0267（45）1710